

妊娠・出産期 乳幼児期 思春期

妊娠時から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援 (54市町村で、基本対面で実施) (健康対策課調べ)
《1回目:妊娠届出時》 《2回目:妊娠8か月頃》 《3回目:出生後》

ローリスク (ホビュレーションアプローチ)

一愛知県の市町村一
市:38 町:14 村:2 } 54市町村
一子ども家庭センター設置状況一
令和7年12月現在 52市町村
令和8年度設置予定:1市町村
未定:1市町村

1 不妊・不育専門相談事業
(名古屋大学医学部附属病院に委託)
《不妊・不育専門相談》
電話相談(延) 160件 圃 179件
面接相談(延) 20件 圃 24件
《流産・死産に対するグリーフケアを含む相談支援》
電話相談(実) 8件 (R6年度)

2 不妊症・不育症ピアサポート活動
((公社)愛知県助産師会に委託)
実施回数6回 参加者数 30人

3 不育症検査費助成事業
(名古屋市・中核市を除く)
件数9件 圃 8件

4 妊娠届出・母子健康手帳の交付
人 %
満11週以内 47,385 (94.8)
満12週~19週 1,810 (3.6)
満20週~27週 300 (0.6)
満28週~出産 167 (0.3)
分娩後 304 (0.6)
計 49,966 (100.0)
圃 満11週以内 48,612 (95.1)
圃 分娩後 254 (0.5)
圃 計 51,136 (100.0)
(令和6年度母子保健報告)

5(1)妊婦健康診査の状況(R5年度)
実人数:62,864人 圃 64,868人
延人数:623,534人 圃 655,880人
(1人平均約10回受診)

5(2)産婦健康診査の状況(R5年度)
実人数:65,145人 圃 66,155人
延人数:79,803人 圃 78,343人
(令和5年度地域保健事業報告)

11 家庭訪問事業
(1) 乳児家庭全戸訪問事業の全市町村実施
(こんには赤ちゃん事業)
54/54市町村(100%)
圃 54/54市町村(100%)
(令和6年度母子保健報告)

(2) 乳児家庭訪問の実施状況(R5年度)
《新生児訪問》 実 5,557人 圃 5,295人
(未熟児を除く) 延 6,323人 圃 5,967人
《未熟児訪問》 実 2,587人 圃 2,486人
延 3,263人 圃 3,008人
《乳児訪問》 実 37,513人 圃 37,457人
(新生児・未熟児を除く) 延 42,871人 圃 42,475人
(令和5年度地域保健事業報告)

(3) 養育支援訪問事業の実施状況
50/54市町村(92.6%) 圃 50市町村
《専門的相談支援》 実 5,833件 圃 5,878件
延 13,067件 圃 12,769件
(令和6年度母子保健報告)

(4) 妊婦家庭訪問の実施状況(R5年度)
実 3,853人 圃 3,102人
延 4,557人 圃 3,726人
(令和5年度地域保健事業報告)

13 乳幼児健康診査受診数(名古屋市を除く)
《3~4か月児》 32,369人(98.1%) 圃 33,962人(98.1%)
《1歳6か月児》 35,017人(97.8%) 圃 36,902人(98.3%)
《3歳児》 38,118人(97.8%) 圃 38,978人(97.9%)
《5歳児》 2市町
(令和6年度愛知県母子健康診査マニュアル報告・健康対策課調べ)

14 事故防止の取組をしている市町村
《事故防止教育の実施》 54市町村(100%) 圃 54市町村
《事故防止に関する実態等の把握》
医療の必要な事故の既往(1.6歳児健診) 42市町村(77.8%)
圃 41市町村(75.9%)
医療の必要な事故の既往(3歳児健診) 43市町村(79.6%)
圃 42市町村(77.8%)
(令和6年度母子保健報告)

15 虐待及び虐待予防に関する相談の状況(市町村保健部門)
把握契機別実件数: 3,297件 圃 3,281件
(1) 関係機関から 1,545件 圃 1,563件
(医療機関、保育機関、他自治体等)
(2) 妊娠期の保健事業 780件 圃 731件
(3) 3歳児健診 253件 圃 233件
(4) 保護者から 206件 圃 229件
(5) 1歳6か月児健診 184件 圃 214件
(6) 3か月児健診 99件 圃 90件
(7) 乳児家庭全戸訪問事業 69件 圃 49件
(8) その他 161件 圃 172件
(令和6年度母子保健報告)

16 市町村や保健所が学校と連携した思春期の健康教育
《「性教育」の取組》
市町村 35(64.8%) 圃 33
県保健所 4(36.4%) 圃 3
《「禁煙教育」の取組》
市町村 19(35.1%) 圃 18
県保健所 1(9.1%) 圃 1
(令和6年度母子保健報告)

17 生涯を通じた女性の健康支援事業
「女性の健康支援事業」
((公社)愛知県助産師会に委託)
《健康教育の実施》 10回(県委託分)
圃 10回
(市町村等と共催で健康教育を実施)
《電話相談》 768件
圃 795件

18 保健所による妊孕力に関する健康教育
《健康教育の実施》 12回 圃 11回
《リーフレット配布》 32,740部 圃 32,440部

19 児童虐待防止医療ネットワーク事業
★ 拠点病院 1か所
★ 中核的な病院 14か所
(R7.4.1現在)

ハイリスク (ハイリスクアプローチ)

6 ハイリスク妊婦(周産期医療システム)
★ 総合周産期母子医療センター 7か所
★ 地域周産期母子医療センター 12か所
(R7.4.1現在)

7 リトルベビーハンドブックの配布
169冊 圃 195冊

8 多胎交流会
((一社)あいち多胎ネットに委託) (R6.4~R7.3)
開催回数12回、参加者数50組78人
圃 開催回数6回、参加者数33人 (R5.10~R6.3)

9 性と妊娠相談ほっとライン相談
(ダイヤル・サービス(株)に委託) (R6.4.1~R7.3.31)
相談実件数116件、延件数375件
圃 相談実件数51件、延件数158件 (R5.10.25~R6.3.31)

10 アウトリーチ支援
((公社)愛知県助産師会に委託) (R6.4.1~R7.3.31)
実件数4件、延件数6件
圃 実件数0件、延件数0件 (R5.9~R6.3)

12 産後ケア事業等の実施状況
《産後ケア事業実施数》 54市町村 圃 53市町村
宿泊型利用人数 1,832人 圃 1,011人
宿泊型延日数 6,565日 圃 3,975日
デイサービス型利用人数 2,357人 圃 1,448人
デイサービス型延日数 3,245日 圃 1,522日
アウトリーチ型利用人数 1,492人 圃 379人
アウトリーチ型延日数 2,769日 圃 915日
《産前・産後サポート事業実施数》 31市町村 圃 29市町村
《産婦健康診査事業》 54市町村 圃 54市町村
(健康対策課調べ)

《不慮の事故による死亡》(乳児:出生10万対、1~4歳:人口10万対)
(1) 0歳児 2人(4.4) 全国51人(7.4)
(誤えん1、その他1)
圃 3人(6.2) 全国73人(10.0)
(2) 1~4歳児 3人(1.2) 全国49人(1.6)
(交通事故1、不慮の溺死及び溺水1、不慮の窒息1)
圃 5人(2.5) 全国45人(1.7)
《乳児のSIDS(乳幼児突然死症候群)による死亡》(出生10万対)
3人(6.6) 全国55人(8.0)
圃 1人(2.1) 全国48人(6.3)
(令和6年人口動態統計)

Table with 7 columns: 県の人口動態, 《出生数》, 《出生率》, 《合計特殊出生率》, 《出生順位別母の平均年齢(第1子)》, 《妊産婦死亡率》, 《周産期死亡率》, 《乳児死亡率》, 《低出生体重児数》, 《低出生体重児の割合》, 《10代の人工妊娠中絶実施率》. Includes national comparison data and trends.

## 1 5歳児健康診査について

### (1) 5歳児健康診査支援事業(母子保健衛生費国庫補助金対象事業)

|       |   |
|-------|---|
| 事業目的  | 新たに5歳児に対する健康診査の費用を助成することにより、出生後から就学前までの切れ目のない健康診査の実施体制を整備する。                    |
| 実施主体  | 市町村   |
| 健診の方式 | 原則、市町村保健センター等において行う集団健康診査   |
| 健診対象  | 実施年度に満5歳になる幼児   |
| 健診項目等 | 身体発育状況、栄養状態、精神発達の状況、言語障害の有無、育児上問題となる事項(生活習慣の自立、社会性の発達、しつけ、食事、事故等)、その他の疾病及び異常の有無 |

### (2) 5歳児健康診査の実施状況について

#### ア 5歳児健康診査実施状況調査(令和7年4月時点)

| (n=54)      |    | 実施方式(n=15) |          |    |
|-------------|----|------------|----------|----|
| 既に実施        | 2  | }          | 悉皆、集団方式  | 11 |
| 令和7年度から実施   | 4  |            | 悉皆、巡回方式  | 1  |
| 令和8年度から実施予定 | 9  |            | 2段階、集団方式 | 3  |
| 令和9年度以降     | 9  |            |          |    |
| 実施予定なし・未定   | 30 |            |          |    |

#### イ 実施に向けた課題

- ・医師、保健師、心理専門職、保育士等の確保
- ・健診後のフォローアップ体制整備が必要

### (3) 今年度の取組

#### ア 母子保健指導者研修会

日時：2025年5月31日(土)

テーマ：「5歳児健診とフォローアップ体制」

鳥取県立総合療育センター 院長 小枝達也氏

参加者数：95名(医師17名、市町村63名、県15名)

#### イ 心理専門職の確保

愛知県臨床心理士会に5歳児健診に従事する心理専門職の確保について協力を依頼し、市町村からの希望を県で取りまとめた。

#### ウ 小児科医会主催の研修会(3月11日開催予定)の周知に協力

## 2 産後ケアについて

### (1) 産後ケア事業

2025年4月現在、県内全市町村で実施

|      |  |
|------|--|
| 事業目的 | 退院直後の母子に対して、心身のケアや育児のサポート等を行い、産後も安心して子育てができる体制を推進する。                                     |
| 実施主体 | 市町村  |
| 県の役割 | ・市町村間の広域調整に向けた調整・情報提供<br>・市町村への支援<br>資質向上のための研修、財政支援(地域子ども・子育て支援事業費補助金：国1/2、県1/4、市町村1/4) |

### (2) 今年度の取組

#### ア 妊娠・出産包括支援推進研修会

日時：2025年8月8日(金)

講演：「産後ケア事業を効果的に進めていくためには

～産後ケアの効果と課題～」

東京情報大学看護学部看護学科 教授 市川香織氏

実践報告：「当院における産後ケア事業の実際」

社会医療法人財団新和会八千代病院 野々山志津江氏

参加者数：58名(医療機関10名、市町村36名、県12名)

#### イ 市町村への意向調査(2025年12月実施)

|             |  |    |
|-------------|--|----|
| ①集合契約の希望の有無 | 希望する                                   | 48 |
|             | 希望しない                                  | 6  |
| ②調整を希望する項目  | 「依頼及び報告書等の様式」、「委託料」、「利用手順及び手続」などが多かった。 |    |

・意向調査を踏まえ、広域調整について市町村との連絡会(Web)を開催予定。